

# 出場競技者注意事項

## 1 競技について

安全について フィールドを横切らないことを厳守する。(リレーなどレース終了後は特に注意する。)  
 点呼はプログラムに示された時刻のトラックは競技開始時刻40分前から開始し、召集完了時刻(競技開始20分前)、フィールドは競技開始時刻60分前から開始し、召集完了時刻(競技開始50分前)までに終了する。点呼に遅れた競技者は棄権とみなす。(受付は本人が行う。)

他の種目と兼ねて出場する場合は、その旨を審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、所定の用紙(2種目同時届用紙)を召集開始時刻までに、招集所へ提出すること。

アスリートビブスは胸、背の両面に確実に付ける。(但し、棒高跳、走高跳は胸、背のどちらかにつけても可・走幅跳は胸だけでも可)

アスリートビブスは四隅を安全ピンでしっかり留めること。(糸での縫い付けは禁止とします。)  
 競技者変更は事故があった場合のみとする。(大会前日の監督会議に補員名簿から行う。)

競技者同士の交換となるので、同じ競技者が2種目にエントリーしている場合、1種目のみの交換は不可。(あくまでも競技者の交換となる)【九州・全国に準ずる】

用具は会場に備えつけのものを使用する。但し、ポールは各自のものを使用する。

### バーの上げ方

	練習	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
男子走高跳	1.50m	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	1.79	1.82	1.85
女子走高跳	1.25m	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57	1.60
棒高跳	2.00m 3.00m	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10

同成績の場合に於ける第1位決定のためのバーの上げは追加試技1回した後に次の様にする。

走高跳 男女共 2 cm                      棒高跳 5 cm

各競技者の受付は第3コーナーとする。

走り幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、ジャベリックスローに於いて参加者多数の場合、カットラインを設けることがある。

フィールド競技は九州大会派遣のための決定戦を行う場合がある。

### ハードルについての規定

種目	高さ	スタートラインから第1ハードルまで	ハードル間	最後のハードルからフィニッシュラインまで	ハードルの数
男 110 m H	91.4 cm	13.72 m	9.14 m	14.02 m	10
男 100 m H	84.0 cm	13.00 m	8.50 m	10.50 m	10
女 100 m H	76.2 cm	13.00 m	8.00 m	15.00 m	10
女 80 m H	76.2 cm	12.00 m	7.50 m	15.50 m	8

原則として競技中におきた競技者の行為または順位に関する抗議は、監督によりその種目の結果が正式に発表されてから、予選15分以内、決勝30分以内に本部に申し出ること。それ以外は、一切受付しない。  
 【競技規則第146条による】

リレーのマーカーについては監督会で確認を行う。

## 2 表彰について

決勝が終わり次第第1～3位に表彰を行うので係りの指示に従うこと。

## 3 その他の注意

応急処置を必要とする場合は、本部待機の救護担当まで連絡すること。

オールウェーザー用スパイクピンはトラック9mm以下、フィールド11mm以下とする。

各種目入賞者は、上着ユニホーム・アップシューズで表彰に臨むこと。

競技場内でオーディオプレーヤー、携帯電話等通信可能な機器の使用を禁止する。

競技の観戦、応援はスタンドで行うこと。(競技場内に立ち入らない)

リレーの補員は、プログラムに記載されていれば登録メンバー以外も可能。

競技者は、陸上競技のユニホームまたは学校指定の体育着で参加すること。(他競技のユニホームや短パンの重ね着は認めない。尚、リレーのユニフォームは統一とする)